

経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

兵庫県 高砂市

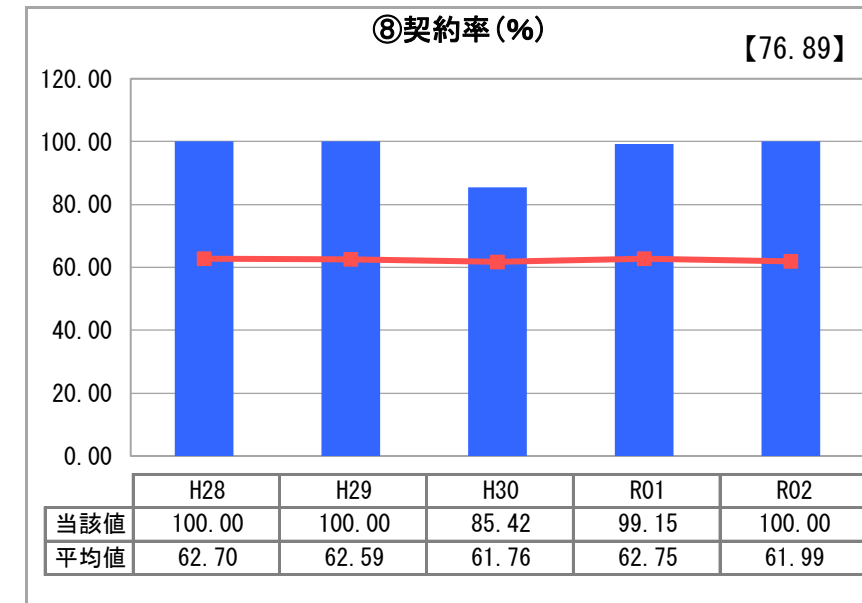
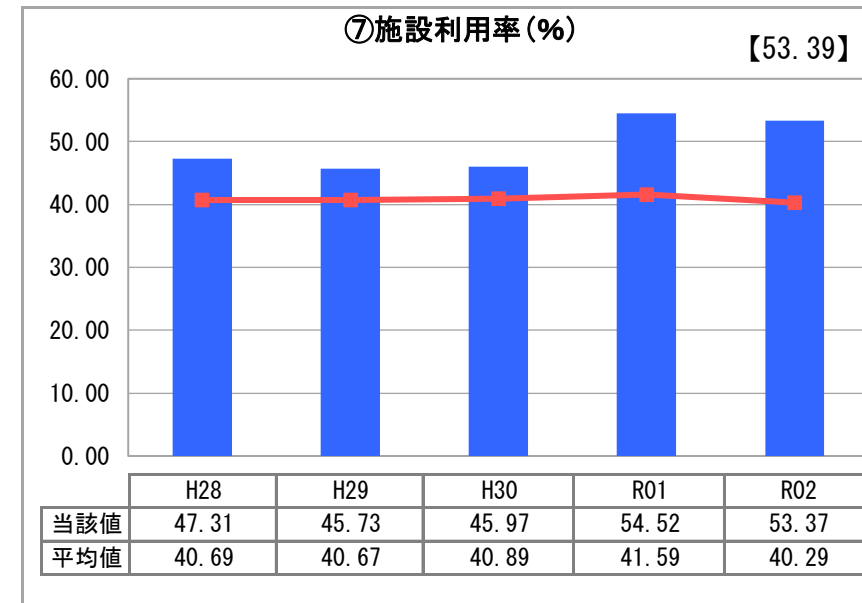
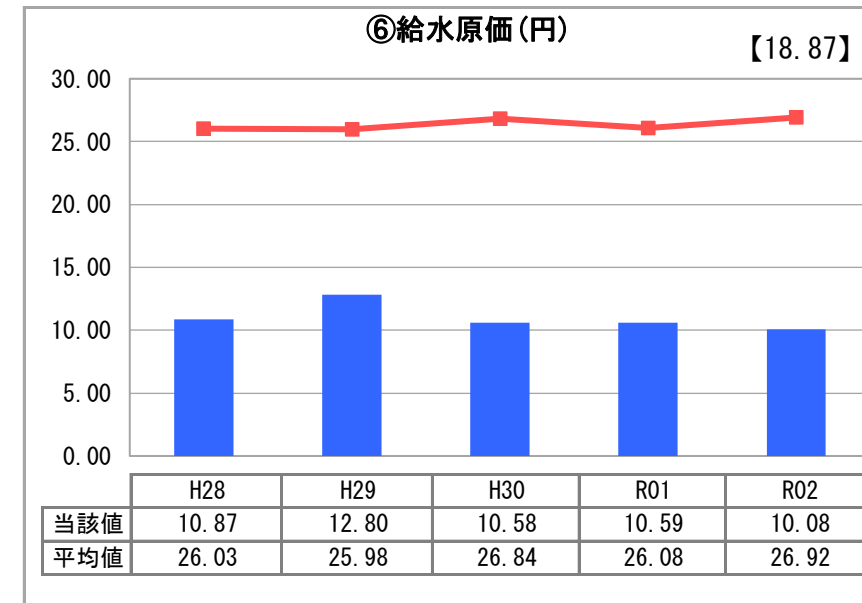
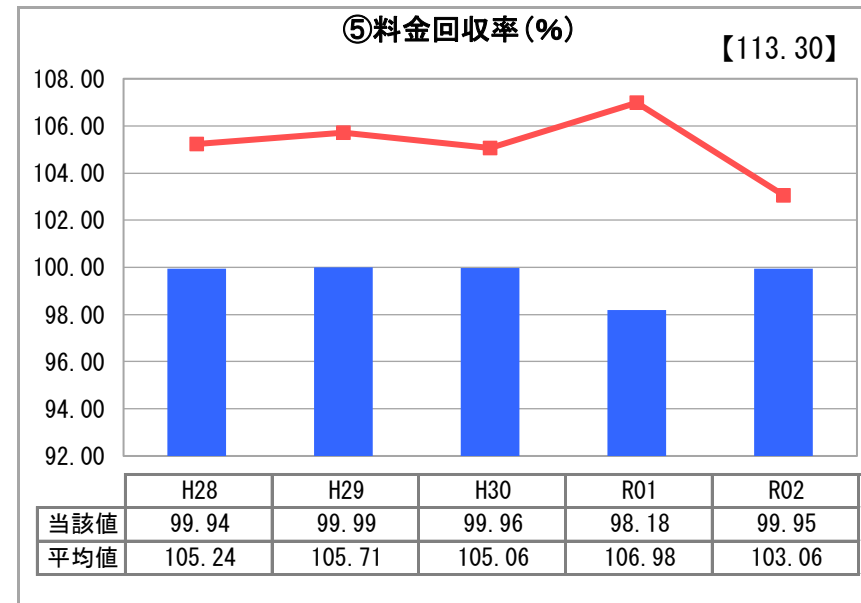
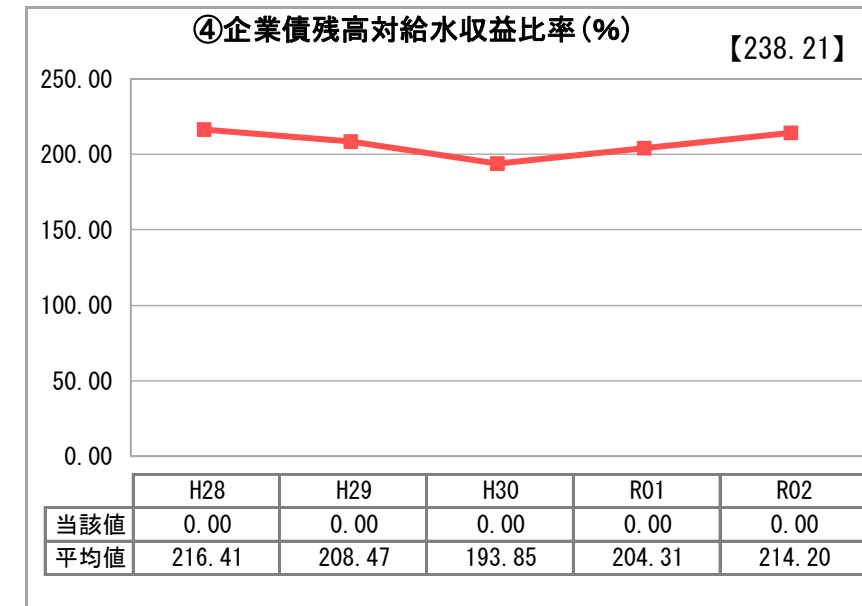
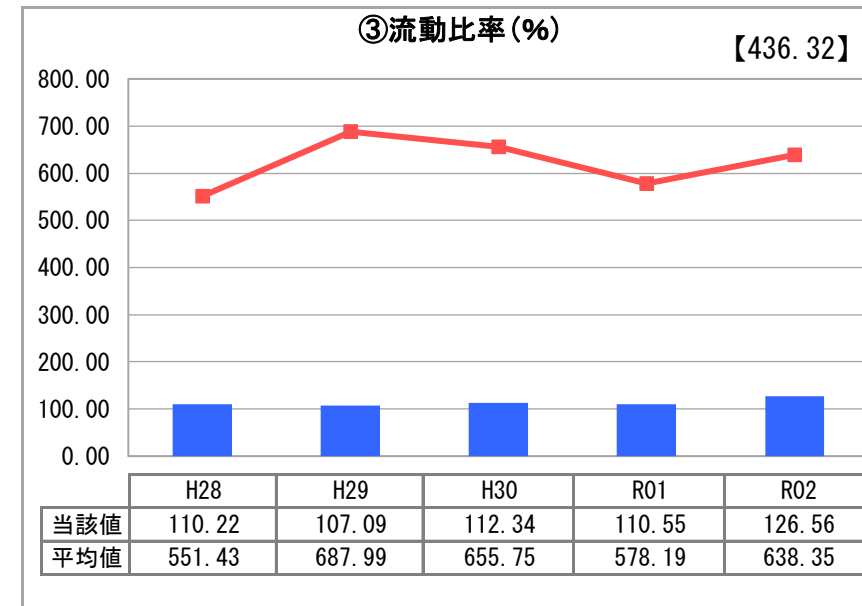
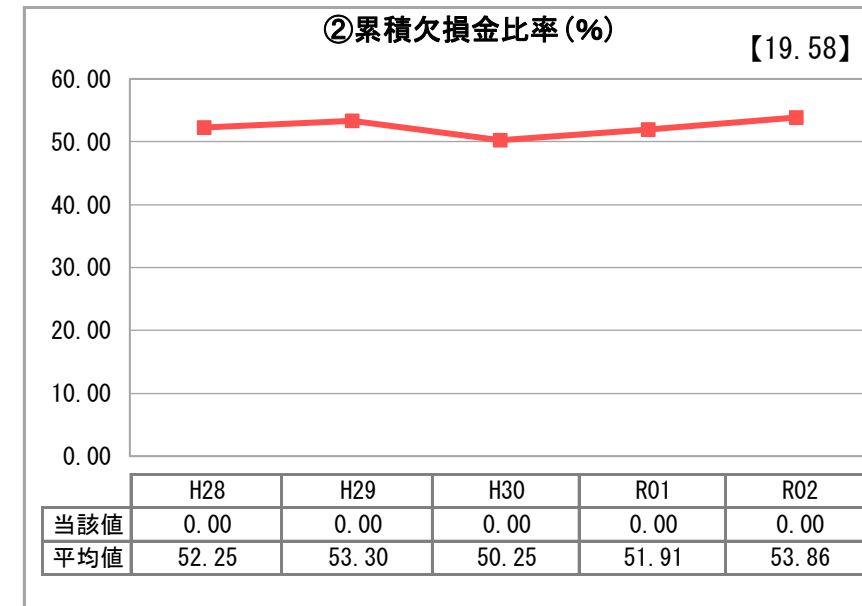
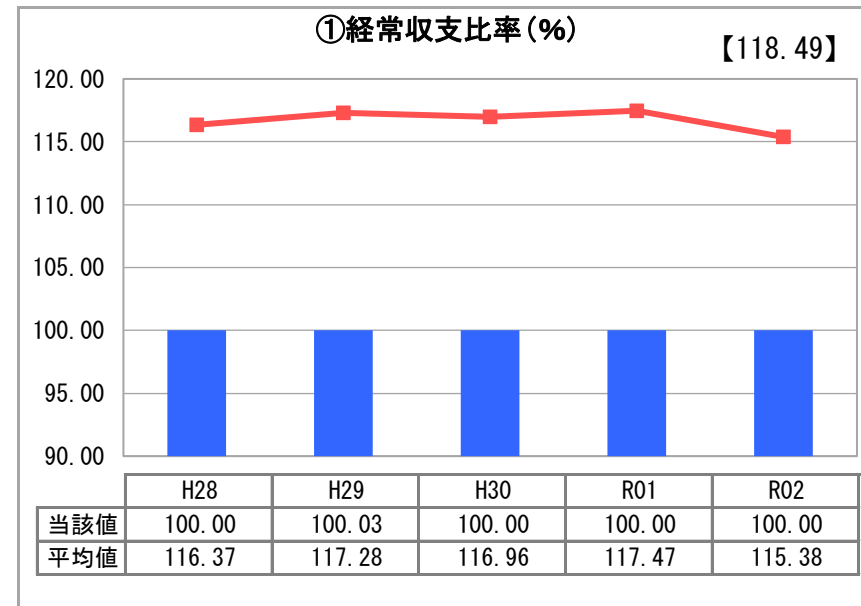
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m ³ /日) 100,800	類似団体区分 中規模	施設数 1	1日平均配水量(m ³) 53,797
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 98.1	給水先事業所数 2	契約水量(m ³ /日) 100,800	管理者の情報 自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

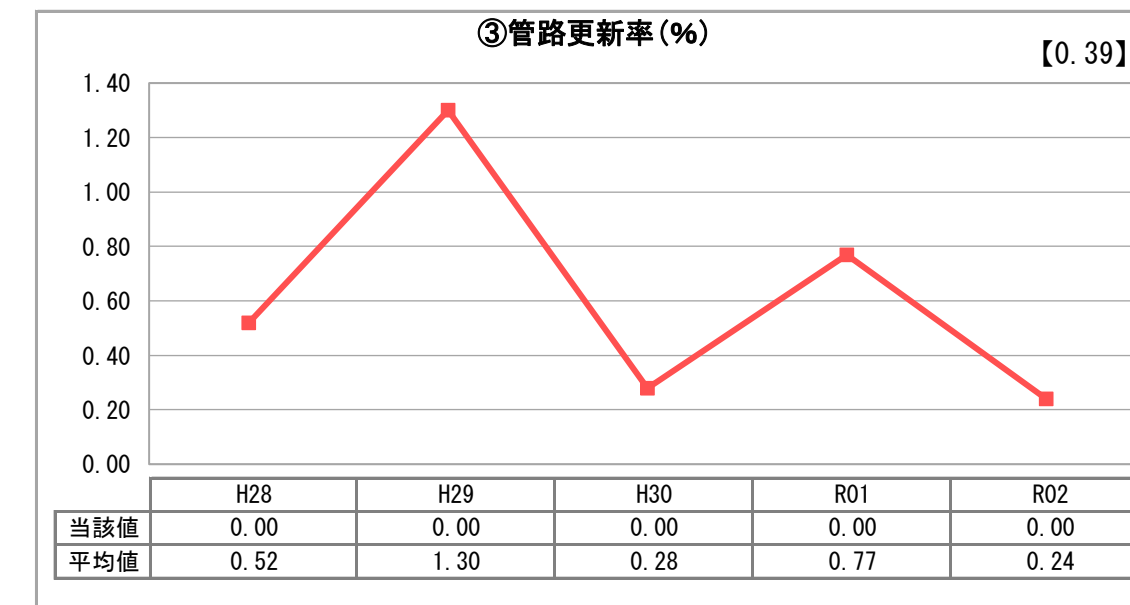
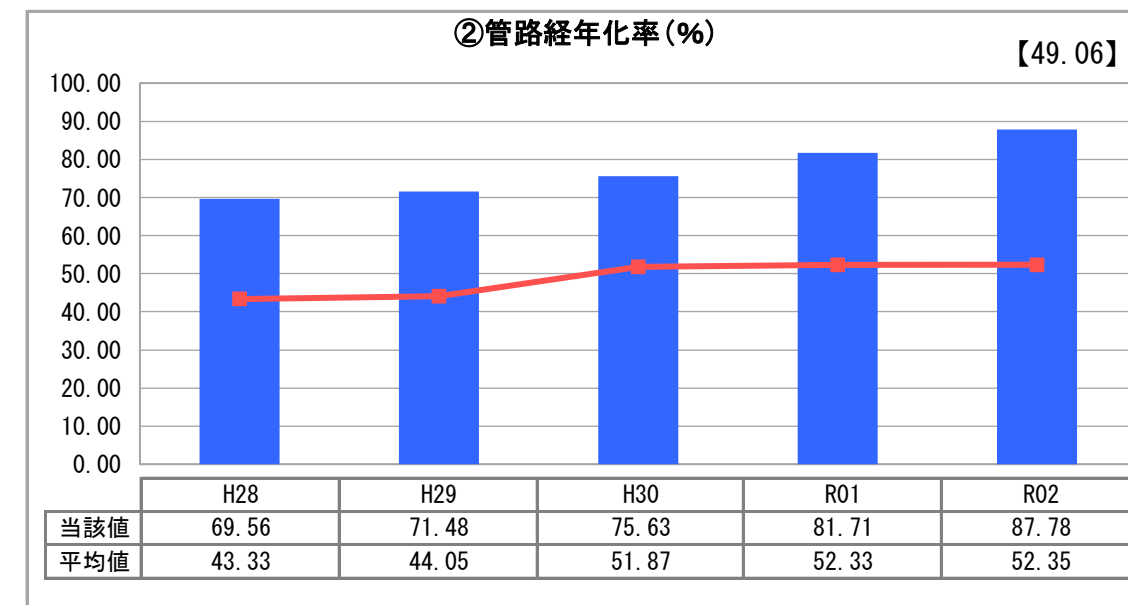
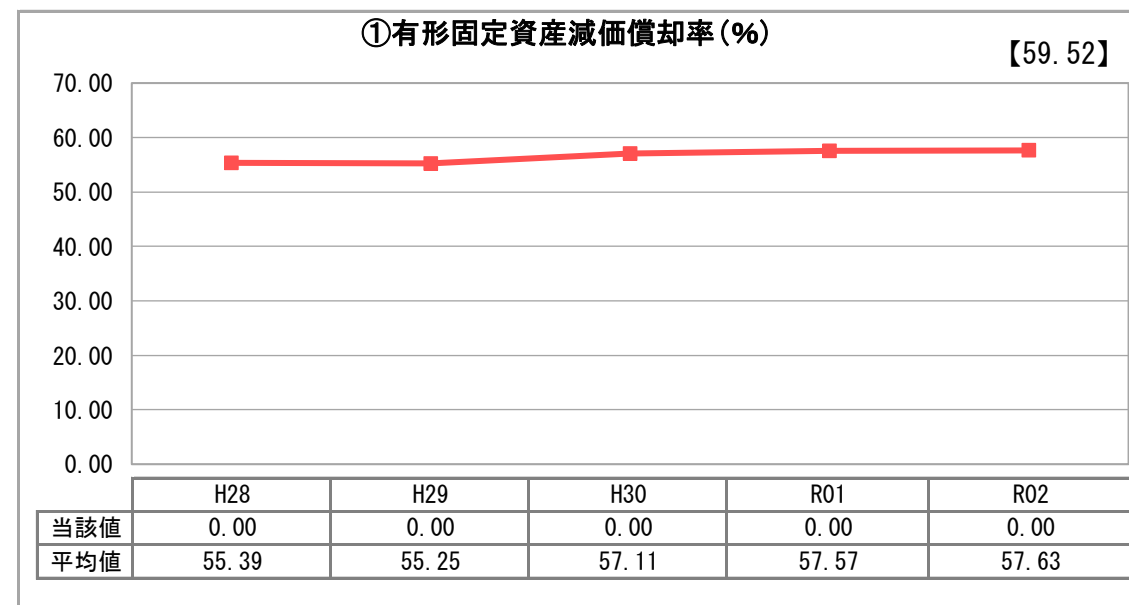
1. 経営の健全性・効率性について

受水企業2社が費用全額を負担する負担金制度となっているため、累積欠損金、企業債残高は発生せず、経常収支比率・料金回収率はほぼ100%で推移している。
施設利用率は昨年に比べ1.15%悪化し、53.37%となっている。
給水原価は10.08円で、全国平均より安価となっている。

2. 老朽化の状況について

固定資産は公営企業会計基準見直し前の「みなし償却制度」により、有形固定資産減価償却率は発生していないが、管路経年化率は87.78%と全国平均に比して高く、老朽化が進んでいる。

2. 老朽化の状況



全体総括

適正な給水原価の維持、老朽化した施設等の計画的な修繕・更新などによる安定した事業の継続に向け、受水企業2社と協議しながら、今後も事業運営を継続して行く。水道事業と同じく令和3年3月に計画期間を10年間とする工業用水道事業経営戦略を策定した。